

## 第 26 回寝屋川市食育推進会議 議事録

1 日時：平成 29 年 2 月 14 日（火）午後 2 時～ 4 時

2 場所：保健福祉センター 5 階 会議室

3 出席者

[委員]

内藤義彦（会長）、檜本浩二（副会長）、五月女由紀、名取三和子、溝口透、沢井元男、古川恵子、安方元子、内藤義彦、榊田理、坪井美也子、北條幸子、藤尾幸男、ダニエル純子  
（順不同） 計 13 名

[関係機関]

産業振興室、環境総務課、高齢介護室、子育て支援課、保育課、施設給食課 計 7 名

[事務局]

健康推進室 計 3 名

4 傍聴人数 計 1 名

5 案件

- (1) 第 2 次寝屋川市食育推進計画中間評価について
- (2) 平成 28 年度寝屋川市食育推進講座について
- (3) 平成 29 年度「かみかみの日」日程について
- (4) その他

6 議事内容（要旨）

（事務局）

定刻となりました。ただいまから、第 26 回寝屋川市食育推進会議をはじめさせていただきます。

健康推進室の猪俣でございます。よろしくお願いいたします。

本来なら健康部長の市川より、御挨拶を申し上げますところですが、本日は別の公務と重っておりまして欠席となっております。御了承いただきますようよろしくお願いいたします。

本日の推進会議では、食育推進計画中間評価及び 3 月 2 日に予定しております食育推進講座につきまして、各部会や関係機関会議において、頂いた御意見を踏まえ、事務局の方で検討してまいりましたので、御報告をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、会議の案件に移る前に、本日の会議出席状況を報告させていただきます。

本日、郡委員、日下委員におかれましては、欠席との連絡をいただいております。現在、委員 15 人中、13 人出席いただいておりますので、寝屋川市食育推進会議条例第 5 条第 2 項により会議は成立していることを御報告いたします。

(内藤会長)

はい、それでは、ここからは司会を努めさせていただきます内藤です。

今回は、食育推進計画の中間評価として、計画を立ててやってきた事の進捗状況を確認します。上手くいっていることは継続し、足りないあるいは新たな問題等に関しては、改善案を考えていくこととなります。現在の報告を聞き、色々な御意見を頂ければと思います。まだ全ての結果でなく途中経過という形で聞いていただければと思います。

今日は板東敬治様より傍聴の希望がございましたので、「寝屋川市食育推進会議の傍聴に関する取扱い要領」第 2 条の規程により、傍聴を許可いたします。よろしくお願い致します。

それでは、議事を次第に沿って進めていきます。配布資料の確認がございますので、事務局よりお願いします。

(事務局)

健康推進室の伴でございます。よろしくお願いいたします。

配布資料の確認をさせていただきます。配布資料といたしまして、次第が 1 枚、資料 1「寝屋川市食育推進会議 委嘱委員名簿」が 1 枚、資料 2「第 2 次寝屋川市食育推進計画中間評価及び途中経過」、資料 3「第 2 次寝屋川市食育推進計画目標値及び平成 28 年度途中経過値」、資料 4「平成 28 年度寝屋川市食育推進講座（案）」、資料 5「寝屋川市食育推進講座 アンケート」、資料 6「平成 29 年度 かみかみの日 日程（案）」、参考資料 1「食育アンケート」、参考資料 2「平成 27 年度 食育推進講座 参加状況等」、以上がお手元にありますか。

以上です。

(内藤会長)

それでは、会議を進めさせていただきます。

案件 1「第 2 次寝屋川市食育推進計画中間評価について」事務局より説明をお願いいたします。

(事務局)

【資料2】を御覧ください。

平成27年11月にエコフェスタ、平成28年9月に寝屋川市立保育所の保護者を対象に実施したアンケートでは、20歳代及び30歳代の回答が少なかつたため、第1回の各部会及び関係機関会議で頂いた御意見を基に、新たに11月にエコフェスタ及び寝屋川市立幼稚園の保護者、12月に摂南大学学生及び市役所20歳代男性職員にアンケートを実施しました。調査期間・回収結果は、資料のとおりです。

なお、老人クラブ連合会へ依頼したアンケートにつきましては、現在集計しているところです。

続いて【資料3】を御覧ください。

1ページ目は、計画に記載されている策定時である平成25年度の現状値及び平成30年度の目標値と、現状を把握する参考値として、平成27年度と平成28年度に実施したエコフェスタでのアンケート結果を掲載しています。

2ページ目は平成28年度に行ったアンケート結果を母集団別に記載しています。

まず「1.全市的な食育推進活動の展開」を御覧ください。

1つ目「食育の言葉も意味も知っている人の割合」及び2つ目「かみかみの日を知っている人の割合」は、平成27年度、平成28年度ともに目標値を達成しています。

2ページ目を参考に詳しくみると、1つ目については、大学生30%、市職員34.2%と低く、年齢が若い、特に男性へのアプローチを考える必要があります。

次に2つ目について、保育所24.2%、幼稚園45.6%は、園児等を通して知識が広まってきたおり、毎月1回庁内放送を行っている市職員については、45.2%と高い数値でした。しかし、エコフェスタ16.1%、大学生4%と、知る機会が少ない集団では低い数値となっています。

3つ目の「食べ残しや食品の廃棄を減らす努力・工夫をする人の割合」は、平成25年度と同様の数値であり、伸び悩んでいる状況でした。

続いて、【資料3】1ページ「2.ライフステージ別の食育の推進」を御覧ください。

まず、1)乳幼児期・学齢期(0~14歳以上)です。

1つ目「朝食をほぼ毎日食べる子どもの割合」の3歳6か月児については、昨年度と比べると微減しているものの、計画策定時から上昇している状況となっています。

小学6年生については、昨年度と比べて微増したものの、計画策定当時から微減してい

る状況となっています。

中学3年生については、昨年度、計画策定時どちらと比べても上昇している状況となっています。

この3項目については、全て90パーセント以上になっているものの、目標値である100パーセントは達成できていない状況となっています。

2つ目「むし歯のない（治療歯もない）子どもの割合」の3歳6か月児については、昨年度と比べると微減しているものの、計画策定時から上昇している状況となっています。

小学6年生については、昨年度と比べて大幅に上昇した結果、計画策定時から上昇し、目標値を達成している状況です。

次に、【資料3】1ページ 2）青年期・成人期（15～64歳）です。

1つ目の「朝食をほぼ毎日食べる人の割合」においては、平成28年度の20歳代男性66.7%、30歳代男性100%となっていますが、ここで【資料3】2ページをご覧ください。エコフェスタにおける母集団数は20歳代男性6人、30歳代男性4人と少ない状況でした。

参考に別の母集団について見てみると、20歳代男性のみである大学生と市職員は51.4%と69.9%と目標数値を達成していません。また、保育所・幼稚園ともに、20歳代男性より30歳代男性の方が数値は上昇しています。

2つ目の「生活習慣病の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実施している人（20歳～50歳代）の割合」においては、平成28年度は平成27年度数値を下回りましたが、目標値を達成しています。

詳しくみると、エコフェスタ32.6%、保育所19.4%、幼稚園21.9%、大学生18%、市職員24.7%と、年齢層が高かったエコフェスタの数値が一番高い状況となっています。

なお、議題2でお伝えしますが、今年度の寝屋川市食育推進講座では、生活習慣病に焦点を当てる予定です。

3つ目の「市民（30・35・40・45・50・55・60歳）の成人歯科健康診査の受診率」については、微減しており、伸び悩んでいる状況です。

最後に、3）高齢期（65歳以上）です。

1つ目「1日3食を毎日食べる人（60歳以上）」については、平成27年度よりも上昇し、目標値を達成しています。

家族構成別に詳しくみると、1つ目「1日3食を毎日食べる人（60歳以上）」については、単身世帯、夫婦のみ世帯、2～3世帯同居で分けても、大差ありませんでした。

2つ目「普段の食事を楽しいと思う人（60歳以上）」についても、平成27年度よりも上昇し、目標値も達成しました。

家族構成別に詳しくみると、2～3世帯同居は67.3%でしたが、単身世帯及び夫婦のみ世帯は、60.8%及び57.0%であり、2～3世帯同居と比較すると低い状態です。

3つ目の「8020の表彰者数」は、平成27・28年度ともに目標値を達成しており、高齢者の健康意識が順調に高まっていると考えられます。

以上が資料の説明です。

(事務局)

ここで、各部会で話し合われた内容について、報告します。

まず、乳幼児期・学齢期部会です。

食育の推進に当たっての課題としては、比較的年齢が若い、特に男性への周知・啓発を進めなければならないため、保育所・幼稚園児等を通じて、青年・成人である、保護者・家族をも目標とした事業を、引き続き実施することとしました。

例えば、小学校において食の実態に関する調査を3群点数法に基づき実施したところ、3食ともバランス良く食事していたのは、全体の19%でした。調査結果を踏まえ、バランス良い食事についての授業、食の大切さに関するDVDの鑑賞及び夏季休暇中に3群点数法を意識した朝食を食べる宿題を課すなどして学習を深めたところ、6割の家庭で改善が見られました。

これは、児童だけでなく保護者の意識も改善するという目的に対し、一定の成果が得られたと評価していますが、より一層高度な意識への改善を促す方法等については、今後の課題としています。

続いて、青年期・成人期部会です。

食育の周知・啓発における、比較的年齢が若い、特に男性へのアプローチ方法、生活習慣病の予防に対する健康行動の変容を促す方法について話し合った結果、親しみやすくインパクトのあるフレーズ等を使用し、効果的な広報活動を行っていくこととしました。

特に若年層に対するアプローチでは、若年層が参加するイベント等に食育のクリアファイル及び親しみやすくインパクトのあるフレーズ等のチラシを同時配布し、少しでも注目してもらうことから始めます。

また、市民（30・35・40・45・50・55・60歳）の成人歯科健康診査の受診率については横

ばい状態ですが、受診期間を3か月から6か月へ延長したため、受診率の上昇が期待され、引き続き経過を注視することとしました。

最後に、高齢期部会です。

食育の推進に当たっては、世代・年代を問わず、市民への周知・啓発が最も重要であるとされ、その周知・啓発方法は、食育に触れ、知識を得る機会を確保するため、市広報誌を活用するなどしました。特に高齢期を対象に周知・啓発する場合、わかりやすいフレーズや図を利用することが大切であり、ランチョンマットは有効な媒体のため、今後もランチョンマットやクリアファイルを有効に利用していくとされました。

高齢化に伴い、ライフスタイルの変化等により、高齢者が孤食や孤食に近い状態になることが見受けられます。孤食になると食事のバランスに対する意識が薄れる傾向となるなど、ライフステージ別の課題があるため、知識を広める際には、各々の課題を意識することを確認しています。今後は、孤食を防ぐ具体的な方法について深めていくことが課題です。

以上です。

(内藤会長)

後半の部会の資料がございませんので、わかりにくい部分がありましたら、御質問いただければと思います。

ただいまの報告に関して御質問、御意見等がありましたらお受けいたしたいと思います。

(藤尾委員)

高齢期部会が2回ありましたが、その時の議論の内容について、部会長や委員から発言いただきたいと思いました。

(内藤会長)

もっと発言していただきたいということでしょうか。

高齢期部会に参加された方で、何か追加発言とかございますか。今の御意見に対して、事務局からでも結構ですよ。

(藤尾会長)

高齢期部会の報告を文章で頂きました。それは、乳幼児期・学齢期部会、青年期・成人期

部会の委員には渡っていないのでしょうか。

(内藤会長)

本会議で、それぞれ部会の資料あるいは議事録を提示してもらい、議論できればということでしょうか。今事務局からありました各部会の要旨に対して、追加したい事があったら、御紹介いただきたいのですがどうでしょうか。

(藤尾委員)

高齢期部会の市の報告以外に、高齢者の増加に伴う独居高齢者の問題に対して、食事にしても一人寂しいため、毎日新聞（平成 29 年 1 月 11 日付け）の記事にある行政が支援しているこども食堂について情報提供した上で、高齢者向けの「シルバー食堂」を有志で行う相談をしています。その取組を通して高齢者をめぐる状況やみんなの意識が深まったと思います。

また、コミュニティ食堂についての意見も出ており、幼児期から青年期、高齢期が「幸せ、みんなが生きていてよかった」と思えるような社会になったらいいなと思います。

(内藤会長)

どうもありがとうございました。数字だけで、良くなった悪くなったという議論だけでなく、やはり質的な部分の中で、改善していかなければ、食育も上手くいかないと思います。

このデータは、市民全体の状況を反映しているか、難しい問題があります。アンケートをしてもなかなか返ってこないため、来られた方にアンケートする形でしかデータが取れない状況です。本来は、数千人の人に無作為抽出で、50%くらいの回収率でどうなったか言いたいのですが難しいため、この数字は参考として見ていただければと思います。

また、例えば、8020 の表彰者数は実数ですが、高齢者人口も増えているため、本当に歯のしっかりしている人の割合がどうかという評価も必要です。数字だけでなく、各分野で、実態を調べている委員の皆様に御意見いただければ、今後の食育推進に有益になると思いますので、そういう観点からも御意見いただければと思います。いかがでしょうか。

(檜本副会長)

先ほど、藤尾委員がおっしゃったことは、【資料 3】「2. ライフステージ別の食育の推進

3) 高齢期 (65 歳以上) 2. 普段食事を楽しいと思う人 (60 歳以上) の割合」を増やそうと思っても一人暮らしの方だったら毎日一人で食べてもなかなか楽しいと感じられないので、「シルバー食堂」みたいなものがあればとおっしゃっているのかと思います。すごく良いことだと思います。

それから、昨年頑張って作った「かみかみの歌」その後どうなっているのか教えてほしいです。

(事務局)

「かみかみの歌」の周知・啓発方法ですが、現在検討中です。3月2日の豪栄道関の食育推進講座の際には、待ち時間等に流すなどして、啓発したいと考えています。

(檜本副会長)

庁内放送の中で、毎月「かみかみの日」に流すなどはしているのですか。

(事務局)

毎月食育の日に「かみかみの日」の周知・啓発として庁内放送を行っていますが、その際に「かみかみの歌」を流すということは行っておりません。

(内藤会長)

庁内放送で流すことで、耳に残り自然と口ずさむようにしないと、いくら良い歌でももったいないと思います。広げていかないともったいないので、一工夫必要かと思いました。

(安方委員)

音源はできていますか？テープやCDはどうですか。

(事務局)

昨年度に作成したCDはありますが、音のバランス等調整が必要と感じています。

(安方委員)

もう少し改良が必要であれば、すぐ流せるようなものはできてないということですか。



(内藤会長)

Y o u T u b e等は、考えていますか。

(事務局)

検討中です。Y o u T u b eを利用するなら、もう少し作り込みが必要と考えています。

(安方委員)

毎年行われる寝屋川市食育推進講座では、必ず「かみかみの歌」を流すようにしたら良いと思います。先程、「流す」と話していたため、専用の楽曲ができているのかと思いました。

(事務局)

昨年度に流したのと同じものを流す予定です。

(内藤会長)

はい、ありがとうございました。「かみかみの歌」は一生懸命作ったので、是非広がっていくと良いなと思います。他にも含めて、周知方法等が今後の課題かと思いましたので、検討いただければと思います。

(沢井委員)

【資料3】「1. 全市的な食育推進活動の展開 2. 「かみかみの日」を知っている人の割合」の保育所 24.2%、幼稚園 45.6%の参考値ですが、数字的に違いがあります。保育所・幼稚園の父兄にアンケートを実施しているため、年齢層もほぼ変わらず、他の数値に関しては大差がない状況です。アンケートの実施時期が保育所9月、幼稚園11月～12月と異なりますが、理由について考えはありますか。

(事務局)

事務局で保育所と幼稚園がどのように「かみかみの日」の周知を行っているか、把握していませんので、問い合わせた上で後日報告をさせていただきます。

(沢井委員)

幼稚園の方が周知しているのではないのでしょうか。周知方法を確認し、保育所に働きかけることができると思います。お願いいたします。

(内藤会長)

ありがとうございます。【資料3】「1. 全市的な食育推進活動の展開」に関しては、目標値は全体のため、幼稚園・小学校等は100%を目指してほしいですね。一生懸命やっておられるので、半分だったら逆に残念に感じます。「かみかみの日」は寝屋川市独自の名称なので、なじみない人がいる可能性があり、「かみかみの日」じゃなくて「食育の日」を知っているのであれば、もう少し高い数値が出ると思います。また、食育に対する意識が高い人が比較的集まっているエコフェスタに来た人でも、「かみかみの日」の認知度は低い状態でした。今後、寝屋川市の食育の取組に対する周知活動を少し強化する必要があると思いました。次頑張ってくださいと思います。

(藤尾委員)

【資料3】「1. 全市的な食育推進活動の展開 3. 食べ残しや食品の廃棄を減らす努力・工夫をする人の割合」を見ると、エコフェスタ・保育所等、相当努力されているようです。食べ残しや食品の廃棄によるごみの問題は全国的、全市的な問題です。私は、百姓出身で今貸農園を利用しており、JAの有機肥料を見ると、国内外の枝等も利用していました。市ごみの中で、可燃ごみ、木の枝、葉、板、芝、苔等を有効利用できないのでしょうか。

(内藤会長)

食品ロスやリサイクルということですね。大きくは食育とも思いますが、ここだけではなかなか難しい話です。市では、エコに対する別の話し合いがありますか。

(環境総務課 川田係長)

生ごみの堆肥化の御意見について、平成28年度、昨年に「ごみの分析調査」をしまして、やはりその可燃ごみの減量が課題であるということが浮き彫りになりました。今現在、市民の皆さまが、自主的に生ごみの堆肥化をしていただくため、堆肥化容器の購入補助と生ごみ処理機の購入補助をしており、そちらの方で、市民の皆さまが自主的にリサイクルをしてい

ただく施策を推進しています。

(内藤会長)

どうもありがとうございました。減らすための努力をされ、廃棄量は平成 25 年度と比較すると減少傾向でしょうか。

(環境総務課 川田係長)

平成 25 年度と比較すると、若干減少傾向にあります。

(内藤会長)

ありがとうございます。意識調査では、90%近い数値ですが、実際の廃棄量が減っているのであれば、より説得力があると思います。アンケートできない部分は、なるべく客観的な他のデータがあれば、評価しやすいですね。例えば、生活習慣病予防として食事に気を付けた場合、病気が減るという有用な数値が出ていれば、上手くいっているとある程度想像することができます。客観的な数値があれば、それも紹介いただければと思いました。

他に中間評価について御質問、御意見とかないでしょうか。

(ダニエル委員)

コンポストは 15 年くらいやっていますか。

(藤尾委員)

コンポストはどのぐらい普及していますか。

(環境総務課 川田係)

正確な開始年度までは記憶していませんが、長期間実施しています。

普及率と言いますか、普及の個数までは、今手元に資料がないですが、ここ 4、5 年でいきますと、堆肥化容器ですと大体年間で 10 台前後、生ごみ処理機につきましても大体 10 台前後、合わせまして大体年間 20 件ほど補助金の申請があって交付しています。

(ダニエル委員)

参考までに、自費で行われている人もあります。私もそうです。

(内藤会長)

ありがとうございます。他に中間評価、今後の課題について何かないでしょうか。

また、後ほど意見が出てきたという場合は、事務局に連絡していただければと思います。

今後も計画の目標達成に向けて、100%達成したらそこで終わりですが、さらに上を目指す為のアイデア等がありましたら、是非お願いします。また、色々なデータも我々で共有し、更なる取組の展開を図っていただきたいと思います。

続いて、議題2「平成28年度寝屋川市食育推進講座について」事務局より説明をお願いいたします。

(事務局)

平成29年3月2日(木)に寝屋川市ふるさと大使の豪栄道関を招いて、食育推進講座を実施します。お手元の【資料4】を御覧ください。

生活習慣病についての講義、豪栄道関へのインタビュートーク及び食育クイズを通して、食育、生活習慣病の予防及び改善方法について学んでいただく場にしたいと考えています。

【資料4】の9～11を御覧ください。

講義では、特定保健指導を担当する保健師が、日常の食生活、運動習慣を振り返るきっかけとなる講義を実施し、健康行動の変容を促します。

インタビュートークでは、豪栄道関と一緒に考える「健康な体づくり」と題し、幼少期から現在までにおける「食事及び運動」について振り返り、生活習慣病の予防と健康について考える機会とします。

最後に食育クイズでは、講義及び第2次寝屋川市食育推進計画の内容から出題し、豪栄道関と一緒に回答していただき、食育についての知識を深める機会とします。

食育推進講座の案内ですが、1月27日に公共施設にチラシの配布を依頼し、2月に広報及びホームページを掲載し、各部会にもご協力いただき、市民への周知をしました。現在応募者に案内ハガキを送付する準備を行っています。

【資料5】を御覧ください。

寝屋川市食育推進講座で配布予定のアンケートです。参加者に記入してもらい、そのアン

ケート内容を基に、次年度の寝屋川市食育推進講座に反映させたいと考えています。

以上です。

(内藤会長)

ただいまの計画について、御意見、御質問等がございましたら、お願いいたします。

(藤尾委員)

食育推進講座の時間は1時間15分ですが、できたら2時間くらいに延長できないでしょうか。

(内藤会長)

御多忙な方なので、豪栄道関にこの時間全部お願いするのは難しいかもしれませんが、延長した時間に他の食育の話題提供を行うやり方もあると思います。豪栄道関を見るために来られる人に対して、食育の情報提供を行うやり方は、楽しいだけでなく、勉強にもなると思いますが、事務局としてはどうでしょうか。作戦やねらいについて、教えていただければと思います。

(事務局)

時間設定につきましては、豪栄道関の御都合がありますので、この時間設定になっております。講義の内容等につきましては、社会保障費の増大から見ても生活習慣病の予防は必要なことで、現在寝屋川市においても重点的に取り組んでいるため、生活習慣病予防について取り上げさせていただきました。また、豪栄道関には、どのように健康づくりに向き合い、小さいころからどういう風に体づくり・健康づくりをしてこられたのか話をしていただき、生活習慣病予防と健康づくりでテーマとして統一させられると判断し、設定させていただきました。時間が短いとの御指摘がありましたが、平日日中という時間の設定から、高齢の方、お子様が来られた場合に、あまり長時間にしても、体がしんどくなったり、集中力が続かなかつたりということがあるかと思っておりますので、短時間で印象に残るイベントにするという趣旨でこういう時間帯の設定にさせていただきました。

以上です。

(内藤会長)

高齢の方を対象としたイベントでは、このぐらいが一般的なのでしょうか。

(事務局)

イベントで、標準時間というのは設定しておりませんで、この内容ですと大体この時間が適当と判断いたしました。

(内藤会長)

食育という側面から考えると、講義の30分が一番食育らしい部分になるかと思います。アンケートの中に時間や内容についての質問項目を入れたらいいですね。「もう少し聞きたかった」「食育のことを色々知りたかった」等、もし声があれば、工夫されたらいいのではないかと思いました。今回はこれで御了解いただきたいと思います。貴重な意見ありがとうございました。

(古川委員)

人数は定員まで集まりましたか。

(事務局)

10日締め切りで、まだ人数に余裕があります。今、ハガキの送付準備中で、送っておりません。

(古川委員)

今から応募しても大丈夫ですか。人数はどれぐらい集まっていますか。

(事務局)

応募人数の資料が手元になく、発表できません。

(古川委員)

去年の推進講座に参加した友人に対して、広報の案内を見たか確認したが、見ていないとの答えでした。広報をあけて次のページに載っていましたが、目立っておらず残念に思いま

した。もう少し目立たせたら、もう少し人が集まっていたのではないかと思います。

(事務局)

レイアウトについては、頂いた御意見を参考に、来年は改善したいと思います。

(内藤会長)

委員の皆さんは、人を集める方法を知っていると思いますので、是非来年に向けて作戦を練っていただければと思います。

他に御意見、質問はないでしょうか。

(藤尾委員)

タイムスケジュールに豪栄道関の退場の時「握手なし」となっているが、豪栄道関の警備もあって、制限があって当然のことですよね。でも型にはまるのではなく、自由な形で市民との接点は持てないでしょうか。

(内藤会長)

事務局の方から説明があると思いますが、基本的には拍手で見送る形だと思います。一人一人行くと時間がかかり、スケジュールが成立しなくなってしまうと思います。

(事務局)

時間もありませんし、あと場所直前になりますので、万が一の事故等があってはいけないので、一応拍手での送迎、送り出す形にさせていただきたいと思います。

(内藤会長)

身近におられて握手したい気持ちは重々わかりますが、御理解いただければと思います。栄養士さんは担当しないのですか。

(事務局)

今回のテーマが、生活習慣病予防であり、健康な体づくりとともに運動にも着目するため、栄養士ではなく、保健師で対応させていただくことにしました。

(内藤会長)

それぞれ自治体の考え方がありますが、「食育」という名前がついている以上は、管理栄養士も一緒に入ってもらった方がいいでしょう。例えば、「栄養バランスの良い食事元気な毎日」「食育クイズ」等の解説及び資料の作成にも管理栄養士に見てもらった方がいいと思います。多職種で連携しながら行う形を構築・維持した方がいいと思いましたが、いかがでしょうか。

(猪俣室長)

平成 28 年度から保健福祉部健康増進課という組織から、健康部健康推進室と新たに名前が変わりまして、保険事業室とふたつの室を持って健康部となりました。健康部になって、保険事業室にありました国民健康保険の特定健診保健指導が、健康推進室の方に戻ってきました。市民の方の健康づくり、健診を健康推進室の方で一体化してやっていく取組が始まっています。これまでは、栄養士、管理栄養士が食育推進講座等で中心的に講座等を行っていました。もちろん「食育」の中心は管理栄養士であることは承知していますが、健康推進室における多職種の専門職が連携し、今年度は日頃市民の方々に健康教室等を行っている特定健診の担当保健師が行いたいと思います。

(内藤会長)

色々な専門性がありますので、上手く活用しながらやっていく。例えば、糖尿病重症化予防に関しては、より精度の高い栄養指導が求められるため、職種連携で是非強化してやっていただきたいと思いました。

他に何か御意見ありますか。

(藤尾委員)

当日来た人に渡す予定のものはありますか。

(事務局)

チラシに記載してありますが、お弁当箱バランスのクリアファイルを来場者の皆様に差し上げて、栄養バランスついて、周知したいと考えています。



(内藤会長)

豪栄道関の関係のものを渡すことが可能なのであれば、お願いします。

他に、この食育推進講座についてないでしょうか。

(ダニエル委員)

まだ募集人員に達してないですが、周囲にはどのようにおすすめてもらえばいいですか。

(事務局)

人数に余裕がありますので、追加で受け付けております。知り合い等にお声をかけていただいて、お誘い合せの上で来ていただければ助かります。なお、座席指定となっておりますので、22日の水曜日まで応募期間を延長します。健康推進室までハガキをいただくようお願いいたします。

(ダニエル委員)

私たちが一応応募しないといけませんか。

(事務局)

推進会議の委員様に関しましては、関係者席を御用意しておりますので、応募は不要です。

(内藤会長)

豪栄道関は、先場所は残念でしたが、是非今後奮起して頑張ってくださいのように、是非皆さんから温かい声援があればと思います。御本人は、食育のイベントに機嫌良く来ていただけますよね。

(事務局)

一応来ていただけると聞いております。

(内藤会長)

ありがとうございました。それでは、課題2に関してはここまでとします。続いて、議題3「平成29年度「かみかみの日」の日程について」事務局より説明をお願いいたします。

(事務局)

【資料6】を御覧ください。

毎月19日「かみかみの日」にちなみ、噛むことの意識づけとして、庁内放送を市役所と総合センターで実施しています。平成29年度の日程を記載していますので、参照ください。

また、平成28年度に放送した内容を記載しています。意図の伝わりにくい部分などがございましたら、御意見を頂きたいです。御意見を基に修正し、平成29年度も、引き続き放送したいと考えています。

以上です。

内藤会長

ありがとうございます。いかがでしょうか。「かみかみの日」の日程あるいは内容についての御意見・御質問がありましたらお願いいたします。

寝屋川の食育会議をずっと見ていますけれども、日本の全国的にはそういうバランスの方が中心だった中、いち早く噛むことの必要性を食育の中に入れたのは寝屋川だったと思います。食育の日が「かみかみの日」となっているのは面白いが、周知している人が40数パーセントであり、エコフェスタの参加者の周知度はさらに低かったので、やはり周知の活動が足りないと思います。豪栄道関のイベントに関しても同様です。庁内で昔からやっていますが、「かみかみの日」における周知の新しいアイデアを入れなければと思いますので、提案していただければと思います。どうでしょうか。

(藤尾委員)

会議に参加するまで、食育について知りませんでした。食育の法律の話をするより、食育の内容、意義とかを入れたらいいと思います。

(内藤会長)

ここに参加されて初めて分かったという面では、食育というのが充分伝わってない。【資料3】「1. 全市的な食育推進活動の展開」では、全市的という言葉が充分に行き渡っていない感じがします。もっと「かみかみの日」を「見える化」するために、色々なところを出すのは難しいでしょうか。

(名取委員)

高齢期部会でも話し合われましたが、食育の周知を徹底させるためには、何か目で訴えるものが不可欠だと思います。広報を利用し、難しいことを語るのではなく、簡潔明瞭に誰もが見てわかる意識付けを行うことを提案しています。

(内藤会長)

議事録でまとめ、全体でフィードバックするような形でやっていけたらと思います。

(藤尾委員)

食育基本法では、「食育とは生きる上での基本で知育食育体育の基礎となるべきもの」と書いている。これを入れたらいいと思います。

(内藤会長)

理念が伝わっていないのは残念なところです。実践活動が足りない感じがします。行政も広報やイベントを行っていますが、以前行っていた「食育キャラバン隊」という、この中のメンバーが集まり活動する中で発信していくような仕掛けも行っていました。あるいは商店街で積極的に推進するなど一つと思います。その辺の市民レベルでの活動というのが見えにくくなっているのが残念です。学校は、どこの自治体もやっていますが、一般市民レベルでの健康づくりの意識にはかなり格差があります。そのため、今後寝屋川市も、食育リーダーやアイデアを出し合える会を行うなど、もう少しやり方を考えられたらいいのではないかと思います。今部会がありますが、議論したいことを実行に移し、また議論するというような仕掛けを作っていただくと良くなると思いますので、今後に向けて、検討していただければと思います。

いかかでしょうか。「かみかみの日」の話になっていますが、今後の会議の進め方も含め、何か御意見等ありましたら、いただければと思います。

(ダニエル委員)

食品を扱うスーパー・大型店は、食育の日として19日等にイベントを行っており、行政と一緒に進むと喜ばれると思います。また、一緒に進むことで寝屋川市の力を入れていることについて宣伝効果にはなるかと思いますが、何より食のことを一番大きく扱っている地元の

スーパーマーケット等が参加することで食育がより現実的になり、健康にも大きく関係すると思います。

(安方委員)

先ほど藤尾委員が言われたように、「食育」は幅広く、私たち専門職でも一言でなんて言ったらいいかわからない状況です。先ほど言ってくれたように、「生きる上での基本で」というフレーズと、国が食育基本法を作って定めた食育の日が、寝屋川市では、どうして「かみかみの日」になったのかというフレーズを入れたポスター等の掲示はされていますか。

(事務局)

本庁舎で掲示はしています。

(安方委員)

そしたら、みんなの目に触れる大きなところに食育の意味を入れる。食育のマークがどういう意味なのかを入れて周知してもらおう。スーパーマーケットのレジ等に貼ってもらい、レジ待ち等で自然に目に飛び込むっていう方法もいいかと思います。もし周知しようとするのであれば、まず買い物をする所で貼るのはどうでしょうか。

(内藤会長)

豪栄道関に対して満員御礼でなければ、申し訳ないような感じがします。他のイベントの中で、これもあるという感じで周知できればと思います。他市の食育フェスタ、色々な健康祭りに行きますが、目玉とするようなイベントを設定するともうちょっとにぎやかになるし、たくさんの方が来て、全体として食育だけでなく健康づくりが広がっていくように思います。摂津市では、国立循環器病センターが来るため、国立循環器病センターの人とたち、医師会の先生方、歯科医師会の先生方も一緒になって、体験型のイベントを行っており、盛況な様子でした。寝屋川市でも健康フェスタがあるので、そういう中で健康のイメージとか食育のイメージを伝えていく、知らせていくという作戦が必要と感じます。今年はこれでもいいですが、また来年以降に向けて独自のいいところを知ってもらえるような活動を行う必要があると思います。最近言われているのは、健康づくりとは地域に対する愛着が大きな原動力になると言われています。そういう意味では、豪栄道関はシンボルだと思いますので、寝屋

川市民と一緒に健康づくり食育を盛り立てていくようにされるといいと思います。御検討をお願いしたいと思います。

「かみかみの日」っていうのは、健康日本 21 では二次で歯・口腔の健康になりました。そういう意味では、歯の健康ですね、すごく注目されています。その辺の大事さを是非聞かせていただければと思います。

(檜本副会長)

誤嚥性肺炎で亡くなっている人が非常に多くなってきていまして、しっかり呑み込めない。その原因が口の周りの筋肉の衰えだったり、しっかり嚙めないであったりがありますので、ちゃんと嚙んで食べることができるのは非常に大事な事です。

放送内容を見させてもらっていると、ほんとはよくできていると思いますので、例えば、チラシみたいな形で作っていただけたら歯科医師会でもコピーして会員の先生のところに掲示していただくようなことはできますのでその辺のところもまた考慮いただけたらと思います。

(内藤会長)

ありがとうございます。

医師会として食に対する取り組みでこういうのが足りないとか、こういうのをしたらどうかとか、ありましたら御意見お願いいたします。

(榎田委員)

医師会では、食育は大人と子どもとを分けた方がいいと思っています。

大人の食育について、食育を行う究極の目的は病気予防ですが、大人の方で食育に興味のある人は、健康に対する意識が高いので、まだ病気になるような人がいないと思います。実際糖尿病や生活習慣病になるような人は、まったく興味がなく、好きなものを食べ、酒を飲むという感じのため、その辺の方々はどう啓蒙するかっていうのがこれからの問題になると思います。だからそういう隠れた人をどうするかということ、行政としても、私たちとしても考えていかないといけないと思っています。

子どもについては、最近子どもの食育というのは非常に大事だとの考えになっています。今年度の4月から、我々小学校の健診で運動器健診が始まりましたが、その結果を見ると栄

養も悪いため、病気、けが、骨折をする子どもが多く、また肥満児の発生など、他問題が発生しています。一方でとても鍛えている子どもいるため、二極化しています。こどもの食育では、栄養の偏り、子どもの肥満等、多岐にわたる問題に対する教育が必要でないかと私は思っております。

それから、豪栄道関は来て何年になりますか。

(猪俣室長)

5回目です。

(榊田委員)

最初は会場に入ることができないくらいだったように思いますが、募集が少ないのでは、他の人も考えた方がよいかと思いました。

(猪俣室長)

例年 200 人以上は来て頂いているので、人数は今の方が多いです。最初は、同じ 5 階フロアの多目的ホールで 90 人定員でしたが、実際に応募されても抽選で漏れてしまった御不満を頂いたため、会場を変更しています。今度行う総合センターの講堂を会場にすると 340 人、3.4 倍になり、天気等で厳しくなったりもします。

(内藤会長)

豪栄道関のせいではありませんので、広報活動を是非頑張ってくださいと思います。

商店街、料理店等に健康に関する成分表示或いは健康にいい料理を出す等情報提供等の取り組みを府として府として保健所で活動していますよね。他の自治体と比べ寝屋川の取り組みはどうでしょうか。

(坪井委員)

健康づくり応援団の店、飲食店への啓発を府でさせていただいています。寝屋川市では店舗数は非常に多いですが、協力店の数は並です。特別この地域に協力店が多いのかということそうではありません。

大阪府もオスメニューと言いまして、ベジタブル、オイル、ソルトという、野菜、油、食

塩を一定基準以下以上で協力していただける店をどんどん啓発しているところで、今寝屋川市内を先月くらいから回らせていただいて協力店を募っています。そちらも積極的にさしていただきたいと思っています。

(内藤会長)

ありがとうございます。

並より、やっぱり上を目指し、一層頑張ってもらえたらと思います。

「かみかみの日」「食育の日」ですけれども、食育の取組みということで有意義な御提言を思いついたら、事務局の方に御提案していただければと思います。どうもありがとうございました。

次第4のその他に移ります。事務局よりありますでしょうか。

(事務局)

特にないです。

委員さんが報告事項等ありましたら、何かございますか。

(坪井委員)

平成28年3月に国が食育推進基本計画を出しており、本来であれば平成29年4月に大阪府も国から1年遅れで計画を発表する予定でしたが、大阪府健康増進計画の評価を行っており、大阪府健康増進計画と食育推進計画を同じ年に出すため、5年計画から6年計画になる予定です。そのため、大阪府が第3次食育推進計画を出すのを1年延期になり、平成30年4月に出す予定にしていますので、この場を借りて御報告させていただきます。

(内藤会長)

ありがとうございます。府からの情報提供ということです。

他に何かございませんでしょうか。

(藤尾委員)

第1回の食育推進会議の時、体系図を頂きましたが、この中の食育推進関係者会議では、どのような報告がなされているか、知りたいと思います。

また、今後の予定として、今年度と同じように平成29年もまた10月ぐらいに会議があるのでしょうか。高齢期部会、食育推進会議も回数を増やすことで、より高い活動ができるのではないかと思いますでしょうか。

(内藤会長)

部会や本会議の回数を増やすという御意見ですが、事務局としては、どうですか。

(事務局)

来年度は、現在は会議の回数を増やす予定はありません。

(内藤会長)

会議の回数を増やすには、行政では秋ぐらいには議論しておかなければいけないので、今から増やすということは、なかなか難しいということでしょうか。

年2回の2時間足らずでは、十分な議論ができないという御意見だと思いますので、事務局は、回数の増加は難しくとも、別の方法で今の御意見を実現するための他のやり方を考えていただければと思います。貴重な御意見ありがとうございました。

他には、その他としては、ないでしょうか。

(藤尾委員)

関係機関会議の報告は、どうでしょうか。

(事務局)

部会の報告を受けて関係機関会議で検討したものを推進会議にあげるという形にしていますので、関係機関単体での報告は行っておりません。

(内藤会長)

その辺の情報がもう少しわかりやすいようにしてはどうでしょうか。

(事務局)

そうですね。御指摘いただきました各部会に所属されていない委員に対する各部会の議論



の内容に関する情報提供及び関係機関会議の内容に関する情報提供の方法につきましては、事務局の方で検討させていただきます。

(内藤会長)

色々な方法があるかと思いますが、過去の本会議における各部会の報告は各部長が行い資料等も準備されていたと思います。その方が共有しやすいので、今後議事の進め方についても御検討いただければと思います。

他に是非今後の改善という観点で御意見いただければと思いますが、いかがでしょうか。

これで本日予定させていただいた案件は全て終了致しました。本日は3つの案件でしたが、議案以上の色々な御意見を頂け、改善に向けての議論になったかと思います。全て実現するのは難しいですが、できることから優先順位を決め、少しでもよくなるようにやっていたければと思います。今後とも皆様よろしく願いいたします。

事務局から何か御意見があれば、よろしく願いいたします。

(猪俣室長)

本日は貴重な御意見をたくさんどうもありがとうございました。本日頂きました御意見を参考に今後の食育推進事業に取り組んでいきたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

以上です。

(内藤会長)

どうもありがとうございました。以上を持ちまして、第26回寝屋川市食育推進会議を終了いたします。